

予定表《2010年8月》

AUG	主な行事	ランチ	おやつ		Happy Birthday
			午前	午後	
1	日	音楽			
2	月	手作りふりかけご飯・八宝菜・うずらゆで卵・味噌汁(麩・わかめ)・デラウエア	せんべい・牛乳	じゃがバター・煮干し・牛乳	
3	火	体操	ご飯・鮭のコンマヨネズ 焼き・もやしのナムル・味噌汁(おくら・えのき・ねぎ)・すいか	せんべい・牛乳	焼きそば・麦茶
4	水	誕生会	ケチャップライス・ウインナー・キャベツのソテー・スープ(じゃが芋・赤ピーマン)・デラウエア	クッキー・牛乳	フルーツケーキ・牛乳
5	木		黒砂糖パン(1歳児はマーガリンサンド)・タンドリーチキン・トマトときゅうりのサラダ・五目野菜スープ・パイナップル	せんべい・牛乳	鮭おにぎり・麦茶
6	金		ご飯・スズキの天ぷら・野菜のごま和え・味噌汁(大根・わかめ)・すいか	せんべい・牛乳	スティックパン・枝豆・牛乳
7	土		焼きうどん・ポテトサラダ・スープ(卵・ピーマン)・メロン	せんべい・牛乳	ゼリー・せんべい・牛乳
8	日				
9	月		ご飯・豆腐と鶏肉の味噌炒め・南瓜の甘煮・清まし汁(そうめん・万能ねぎ)・デラウエア	せんべい・牛乳	マカロニのミートソース和え・牛乳
10	火		梅干ご飯・煮魚(シルバー、低年齢児はカラスガレイ)・もやしの炒め物・味噌汁(モロヘイヤ・油揚げ)・すいか	せんべい・牛乳	サワークリーム・牛乳
11	水		ちゃんぽん麺・ジャーマンポテト・ブチトマト・デラウエア	クッキー・牛乳	おにぎり(ひじき)・煮干し・麦茶
12	木		ご飯・豚肉の生姜焼き・マカロニサラダ・味噌汁(かぶ・ごぼう)・パイナップル	せんべい・牛乳	チーズトースト・牛乳
13	金		ツナカレー・ハムサラダ・ブチトマト・スープ(ほうれん草・マッシュルーム)・すいか	せんべい・牛乳	バナナ・クラッカー・牛乳
14	土		チャーハン・中華風サラダ・ブチトマト・スープ(ウインナー・わかめ)・メロン	せんべい・牛乳	デニッシュパン・牛乳
15	日				
16	月		手作りふりかけご飯・八宝菜・うずらゆで卵・味噌汁(麩・わかめ)・すいか	せんべい・牛乳	じゃがバター・煮干し・牛乳
17	火		豚丼・ツナサラダ・ブチトマト・味噌汁(豆腐・にら)・白桃缶	せんべい・牛乳	ごまクリームサンド・牛乳
18	水	健診(0歳児)	ご飯・肉野菜炒め・マッシュポテト・味噌汁(かぼちゃ・長ねぎ)・デラウエア	クッキー・牛乳	どうもろこし・せんべい・麦茶
19	木		黒砂糖パン(1歳児はマーガリンサンド)・タンドリーチキン・トマトときゅうりのサラダ・五目野菜スープ・パイナップル	せんべい・牛乳	鮭おにぎり・麦茶
20	金		ご飯・スズキの天ぷら・野菜のごま和え・味噌汁(大根・わかめ)・すいか	せんべい・牛乳	スティックパン・枝豆・牛乳
21	土		焼きうどん・ポテトサラダ・スープ(卵・ピーマン)・メロン	せんべい・牛乳	ゼリー・せんべい・牛乳
22	日				
23	月		ご飯・豆腐と鶏肉の味噌炒め・南瓜の甘煮・清まし汁(そうめん・万能ねぎ)・デラウエア	せんべい・牛乳	マカロニのミートソース和え・牛乳
24	火	体操	梅干ご飯・煮魚(シルバー、低年齢児はカラスガレイ)・もやしの炒め物・味噌汁(モロヘイヤ・油揚げ)・すいか	せんべい・牛乳	サワークリーム・牛乳
25	水		ちゃんぽん麺・ジャーマンポテト・ブチトマト・デラウエア	クッキー・牛乳	おにぎり(ひじき)・煮干し・麦茶
26	木		ご飯・豚肉の生姜焼き・マカロニサラダ・味噌汁(かぶ・ごぼう)・パイナップル	せんべい・牛乳	チーズトースト・牛乳
27	金		ツナカレー・ハムサラダ・ブチトマト・スープ(ほうれん草・マッシュルーム)・すいか	せんべい・牛乳	バナナ・クラッカー・牛乳
28	土		チャーハン・中華風サラダ・ブチトマト・スープ(ウインナー・わかめ)・メロン	せんべい・牛乳	デニッシュパン・牛乳
29	日	音楽			
30	月		ご飯・すき焼き風煮・スティックきゅうり・さつま汁・りんご	せんべい・牛乳	ごまクリームサンド・牛乳
31	火		ご飯・鮭のコンマヨネズ 焼き・もやしのナムル・味噌汁(おくら・えのき・ねぎ)・すいか	せんべい・牛乳	焼きそば・麦茶



育子園だより 8月号

(2010) 平成22年8月1日発行

こぼと



梅雨明けと同時に夏本番の天候が続いていますが、園内ではプールや水遊びを楽しむ子ども達の声が響いています。

さて、新宿せいが保育園の藤森園長(見守る保育の主宰者)と同志20人と共に、ドイツ・ミュンヘン市へ保育環境視察に行ってきました。ドイツはOECDが推奨している5つの保育のうちのひとつを行っています。残念ながら日本の保育はその中に入っていない。何故でしょうか。

それは島国日本にいと、年齢別の画一的な保育(最大1歳も違う子に同じことを全員にさせる)が当たり前、これは世界的な視野で見ると携帯電話と同じように保育のガラパゴス状態なのです。

ミュンヘン市視察で印象的だったのは園庭の造り方です。芝生に加えて、砂利スペース、石畳スペース、岩スペースなど配置して、様々な体験ができるような環境設定がしてあり、特に砂場は「砂」があるだけではありません、色んなものが入っています。(詳しくは、育子園ホームページの園長ブログをご覧ください)

一方、日本の保育園、幼稚園ではいまだに間違ったバリアフリー環境(本来は老人、身障者用)を取り入れて、段差をなくし、ケガをさせないようにして子ども自らが発達しようとする力を阻害しています。

また、ミュンヘン市では子どもにあえてバリアを与えることが発達にとっては大切なことで、例えば歩き始めた子どもの保育施設には、歩行の発達を促すために廊下に河原の石を置いてあります。

それでは、庭野日鏡(にわの にちこう)名誉園長の言葉を紹介させていただきます。

園長

「怒る」ことを学ぶ子ども



子どもは、親の姿を見て学ぶものです。「学ぶ」ということは「真似ぶ」、親、先輩、学校の先生などが為すことを真似るのが、そもそも「学ぶ」ということの始まりだそうです。ただ知識を頭に入れるだけではなく、どのような生き方をするのかということを見て学んでいく、真似をしていくというのが、本当の「学ぶ」ということであります。

そして、常に家庭で一緒に過ごしているのは親子です。ですから、親が実践し、後ろ姿で示す。その姿を見て、子どもが学ぶ、真似ぶ。そうしたことがとても大事になるのであります。

子どもは、自分の気持ちをコントロールできないものです。何か気に入らないことがあると、「嫌いだ」とか言ったり、怒ったりします。しかし、人間は、もともと「怒る」という気持ちは持っていなかったそうです。ところが、子どもが言うことを聞かないと、親が怒り、命令し、大きな声を出したりするものですから、それを真似てしまったのだ、と。人類は、そのような経緯をずっと辿ってきたものですから、子どもが「怒る」ということを学んでしまったというのです。

ですから、やはり親が、自分の気持ちをコントロールし、怒りの心を持たないで、いつも笑顔で対することができるようになっていくことが非常に大切になるのであります。

合掌

入園児紹介

くん (さくら組)

～一緒に遊ぼうね～

～平成22年度「児童福祉週間」標語～

「地球はね 笑顔がつまった 星なんだ」

(11歳・滋賀県 宇野洵子さん)



かもめの水兵さんへ